

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses
(For 3yos and upwards which raced between 1st January and 6th October 2013)

World's Best Racehorses Rankings			
Leading Horses			
click here for complete rankings			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	BLACK CAVIAR (AUS)	130	AUS
1	TREVE (FR)	130	FR
3	WISE DAN (USA)	129	USA
4	NOVELLIST (IRE)	128	GER
5	GAME ON DUDE (USA)	126	USA
5	TORONADO (IRE)	126	GB
7	ANIMAL KINGDOM (USA)	125	USA
7	DAWN APPROACH (IRE)	125	IRE
7	FORT LARNED (USA)	125	USA
7	ORFEVRE (JPN)	125	JPN

無敗の仏調教 3 歳牝馬トレヴ【130】が、凱旋門賞(G1)を圧勝し、オーストラリアの伝説的牝馬ブラックキャビア【130】と並んで、最新版ロンジンワールドベストレースホースランキングでトップに立った。

同馬はデビュー5 戦目であったにもかかわらず、枠順の不利を克服し、昨年のこの競走2着のオルフェーヴル【125】や仏ダービー馬アンテロ【124】、さらに日本ダービー馬キズナ【121】を降した。傑出した能力の持ち主である同馬は来年も現役続行の予定である。

凱旋門賞のロンシャン開催からは他にも特筆すべきパフォーマンスが見られた。

ムーンライトクラウド【123】は、爆発的な末脚を繰り出しフオレ賞(G1)を快勝、今年の無敗記録を継続するとともに、自己最高となるレーティングを得た。

また、その前日に行われたドラール賞(G2)では、仏調教7歳・馬シリュステゼグル【123】が今回も楽勝し、ここ4年で同競走の3勝目となる勝利を飾るとともに、未だ衰えず昨年に近い能力を維持していることを示した。

一方、北米では、ブリーダーズカップを目指す組が最終決戦に備えるべく始動している。その中でも最も特筆すべきパフォーマンスを見せたのはブリーダーズカップクラシックを目指す2頭だ。ムーチョマッチョマン【123】はオーサムアゲイン

S(G1)で鮮やかな勝ち振りを見せ、昨年 2 着だった本番に向けて順調ぶりをアピールした。また、ロンザグリーク【122】はジョッキークラブゴールドカップ(G1)を強敵相手に圧勝し、これまで最も高いレーティングを得た。